

UPF ワールドサミット 2025 の成果と 2026 年の展望

要点

- UPF ワールドサミット 2025 が 2025 年 4 月 10～13 日にソウルで開催、117 カ国から参加
- 現職・元職の大統領・副大統領 5 名が本会議で登壇し、国際秩序の課題を議論
- FOPREL が UPF にオブザーバー資格を付与する手続きを開始
- 2026 年はアジア・アフリカ・欧州・中東で地域会議を展開予定

UPF（宇宙平和連合）が主催するワールドサミット 2025 が、韓国ソウルで 117 カ国の指導者を集めて開催された。テーマは「現代の世界秩序への挑戦：平和と繁栄の新時代の確立」。紛争解決、気候変動、持続可能な開発、女性のリーダーシップなど多岐にわたる議題が取り上げられた。

元首級の登壇と議会間連携

4 月 11 日の本会議では 5 名の元大統領・元副大統領が登壇。ナイジェリアのグッドラック・ジョナサン元大統領と南アフリカのサミュエル・ラデベ師が 2025 年度サンハク創設者賞を受賞した。

注目すべき成果として、中米・カリブ海・メキシコ立法権議長フォーラム（FOPREL）が第 31 回臨時会合をサミット内で開催し、UPF にオブザーバー団体資格を付与する手続きを開始した。

2026 年の活動方針

UPF 国際本部の計画によると、アジア、アメリカ大陸、アフリカ、オセアニア、欧州、中東の各地域で会議を開催予定。IAPD（宗教間平和開発協会）を軸に宗教間対話も強化される。UPF は 2005 年創設の国連 NGO で、ECOSOC の総合協議資格を保有している。